

山口市議会報告

Y o m a g u c h i C i t y C o u n c i l R e p o r t vol.34

地域政党
やまぐちの風

猛暑や線状降水帯による 豪雨災害から暮らしを守るために ～異常気象の対策として、地球温暖化防止に早急に取り組むべき～



山口市本庁舎棟屋上の太陽光発電設備

令和8年 第4回山口市議会定例会 **質問と答弁**

脱炭素先行地域の取組について

▶質問

山口グリーンエネルギー(株)の経営状況をどう評価しているのか。また、今後、同社にどのような役割を期待しているのか伺う。

▶答弁

令和6年に官民共同出資により設立した山口グリーンエネルギー(株)は、地域で生み出された再生可能エネルギー電力を公共施設や中心市街地の民間施設へ供給し、その収益を地域へ還元する仕組みを担う地域新電力会社であり、エネルギーの地産地消と地域活性化の両立に重要な役割を果たすことが期待されている。令和8年3月末時点では、供給先53件、売上高は約3億8,600万円、利益が約2,500万円を計上している。事業は着実に進展し、地域新電力会社としての事業基盤は整いつつあると認識している。今後はさらに、中心市街地の民間施設への供給拡大を通じ、再生可能エネルギー電力を地域で活用する取組の中心的な担い手となることを期待している。

▶質問

この度、新たに設けた再エネ設備等導入事業費補助金を始め、各種支援制度を展開しているが、現在の取組状況について伺う。

▶答弁

中心市街地エリアの店舗や事業所等を対象に、太陽光発電設備、蓄電池、エネルギーマネジメントシステムの導入を支援する山口市再エネ設備等導入事業費補助金制度を開始した。現在、(株)街づくり山口や地域の施工事業者と連携しながら、補助制度の周知と活用促進に取り組んでいる。

▶議会での主張

山口市再エネ設備等導入事業費補助金制度は補助金額が3分の2と有利な条件でもあり、制度の存在や内容をしっかり周知すべきである。事業を効果的に実施し、中心市街地活性化につながることを期待している。

中心市街地活性化について

▶質問

第4期山口市中心市街地活性化基本計画では、中心商店街、新本庁舎、パークロード及び文教施設、そして市民会館を結ぶ、人の流れをどのような事業によって生み出し、中心市街地の活性化を実現するのか伺う。

▶答弁

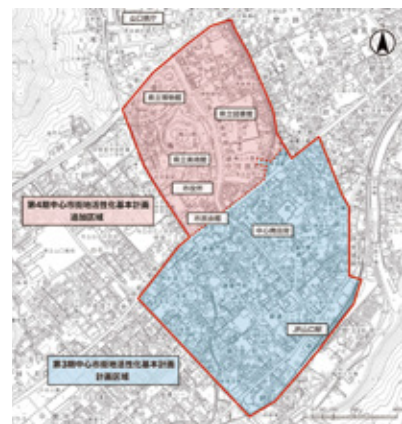
この度、計画を策定するにあたり、計画区域を亀山周辺ゾーンのうち、国道9号南側エリアを新たに加え、約120ヘクタールとした。工事中の市民交流棟、本庁舎広場、立体駐車場の完成後を見込み、中心商店街ゾーンと一体的な都市空間として、高次都市機能の維持・集積及びエリア価値の向上を図る。県立図書館、博物館、美術館といったパークロード周辺にストリートファニチャーやキッチンカー等による歩道を活用した賑わい創出を図る実証実験を検討し、歩行環境の改善として早間田交差点の平面交差化の改良についても県に要請している。

▶質問

第3期山口市中心市街地活性化基本計画の成果である、山口情報芸術センター[YCAM]がこれまで培ってきたアートを通じた人材育成や、交流創出の知見を今後、どのように活用するのか伺う。

▶答弁

中心市街地に愛着を持った人々を応援人口として定着させていくことを目標とし、次世代につながる、まちなか応援人口の増加へつなげる。具体的には、中心市街地をフィールドとして活用するイベントの開催や運営を通じ、まちづくりに参画できる機会を創出する。秋の風物詩やまぐち秋の盆踊りといった新たな取組みも生まれ、人が集い、つながり、育む、出かけたくなる中心市街地の実現に活用する。



第4期山口市中心市街地活性化基本計画(案)区域図

山口市民会館の空調設備の不具合について

▶質問

山口市民会館、今回の空調設備の不具合について、原因とこれまでの対応状況について伺う。

▶答弁

市民会館の空調設備は、メイン機と予備機による2系統の熱源で構成されている。6月末にメイン機の冷却水ポンプが経年劣化の影響で動作しなくなり、2系統ある熱源のうち、1系統が機能不全となった。残る予備機も老朽化でフル稼働が困難で、空調可能なエリアを制限した。対応としては、演奏会場等に優先的に冷房を供給し、供給できないロビー等には、スポットクーラーの設置や、独立した冷房機器があるエントランスホールから大型送風機を使用して冷風を供給した。特殊機器のため時間を要したが、8月末に復旧し現在は正常に稼働している。

▶質問

安定した利用環境を維持していくための、今後の取組について伺う。

▶答弁

令和10年7月には山口市民会館を会場として、全国高等学校総合文化祭の総合開会式が予定されており、本施設は今後も重要な会場として活用されることが多く、出演者や来場者が安心して利用できる環境を確保し、空調設備に関しては定期的なメンテナンスをしっかり行い、今後、施設全体の老朽化への対応を進める中で全面的な機器の更新も視野に検討する。

▶議会での主張

県内において他の複数の文化ホールの長期休館が予定されていることから、今後は県内各地の文化芸術団体による大会、発表会などの受け皿として、山口市民会館に求められる役割は益々大きくなると考えている。



山口市民会館

阿東地域における農業振興について

▶質問

(株)瀬祭及び(株)あむ瀬より「酒米研究所等」の提案があり、「旧阿東ふるさと交流促進センター」及び周辺土地の優先交渉権者が選定された中で、今後、本市においては、この連合体等と、阿東地域の農業振興について、どのような連携や協力、相乗効果を含めて地域農業の発展を図っていくのか伺う。

▶答弁

この度の提案は、酒米研究所の新設によって農業を支えるための施策、山田錦の生産による農業で稼ぐための施策、旧阿東ふるさと交流促進センターの活用による農村に関わる関係人口を拡大するための施策として、国が想定している中山間地域の農業振興の施策全てにつながる。本市としては、新たな取組みについての情報を積極的に提供し、農業経営における選択肢を増やし、農業振興につなげたい。



山田錦(酒米)

▶議会での主張

酒米研究所の新設で、今後は契約農家に対して山田錦の生産現場の技術を反映させるため、研究所によって得られた情報を具現化し、契約農家に情報提供されることを期待している。

地域政党 やまぐちの風としての主張

地域政党 やまぐちの風は新本庁舎の市民交流棟、立体駐車場、庁舎前広場(令和10年度完成予定)の整備と併せて、広場のパークロード沿いに、中央公園に所在する、多くの若者でにぎわっているカフェを誘致すべきだと主張しています。広場の向こうにサビエル記念聖堂の白い鐘塔を眺め、夜には本庁舎棟のライトアップも楽しめるお洒落な空間が多くを市民を魅了し、パークロードや広場ににぎわいが創出されると考えています。



パークロード側から眺める本庁舎棟とサビエル記念聖堂の白い鐘塔

地域政党 やまぐちの風は、市民の皆様の声を大事にすることを第一の信条として活動していることから、市議会での議論について、自身が撮影した画像等と併せて、定例会ごとにわかりやすくお伝えしていくためにつくっているのがこの会報です。是非、ご覧いただき、お気軽にご意見等をお寄せいただければ幸いです。

